



TITLE:

哀辞

AUTHOR(S):

CITATION:

哀辞. 經濟論叢 1966, 97(2)

ISSUE DATE:

1966-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133122>

RIGHT:

經濟論叢

第九十七卷 第二號

哀 辭

故吉村達次教授遺影および原稿

国債発行と金融政策	中 谷 実	1
アージリスの組織理論 (1)	田 杉 競	16
貸借対照表という用語の創出過程	高 寺 貞 男	30
独占価格と生産価格	松 石 勝 彦	51

記 事

吉村教授逝く

追悼文 (池上 惇 林 直道 松井 清)

追憶談 (坂寄俊雄 稲垣 武 原田篤己)

故吉村達次教授略歴・著作目録

昭和四十一年二月

京都大學經濟學會

哀 辞

昭和 41 年 1 月 21 日 本会評議員 京都大学教授 経済学
博士 吉村達次君 くも膜下出血により急逝されました 世
寿 49 歳

君は 昭和 17 年京都帝国大学経済学部を卒業 昭和 23 年
京都大学経済学部を迎えられ 昭和 41 年 1 月 1 日教授に昇
任 研究と教育とにおいて 今後いっそうの活躍が期待され
ておりました そのやさき 思いもよらぬ急逝 まことに残
念です

君は 専攻の経済理論とくに恐慌論の分野において おお
くの貢献をされました 君の学問・研究の自由のための 教
育者としての活躍には 刮目すべきものがありました

君はまた 京都大学経済学会の評議員として 会務につく
され 本誌によせられたいくたの研究は 学界の定論として
重きをなし 本誌に光彩をくわえました

謹んで ここに 君の遺影をかかげ 哀悼の意を表します

昭和 41 年 1 月 31 日

京都大学経済学会